科目名	保健体育	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成 26 年度・前期	対象学科・専攻・学年	2 年　　物質工学科
授業形態	実技	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位(30h)
担当教員	三原　大介	居室（もしくは所属）	講義棟 2 階　三原教員室
電話	内線 184	E-mail	mihara@小山高専ドメイン

授業の到達目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
1. ソフトボールの基本的技術及びルール・審判法を身につけ、ゲームができること、	⑥		
2. バレーボールの基本的技術を身につけ、ゲームができることを目標にする。	⑥		
3. 水泳の各泳法を身に付け、長い距離を泳ぐことができることを目標にする。	⑥		

各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法

1. ソフトボールの基本技術であるスパイク・トス・レシーブ・パスができ、チームプレーができる。(5 段階評価)
2. バレーボールの基本技術を理解し、正しい動きができる。(5 段階評価)
3. 水泳のクロール・平泳ぎ・背泳ぎの 3 泳法を各 25m以上泳ぐことができる。(5 段階評価)

評価方法

1. ルールを理解し、正しい捕球、守備、打撃フォームができ、チームプレーができることを 5 段階評価する。
2. ルールを理解し、スパイク・トス・レシーブ・パスのテストを行い、チーム成績を勘案し 5 段階評価する。
3. 水泳のクロール・平泳ぎ・背泳ぎの 3 泳法について 5 段階評価する。

*授業態度、基本的技術、チーム成績を総合的に勘案し、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅの 5 段階で評価する。
*基本的に出席を重視し、欠課数が 1/3 を超える者は評価の対象にしない。

授業内容

ソフトボール
・投球、捕球、打撃、走塁の基本技術、班分け・・・2 週
・ルール、審判法、ゲーム・・・3 週
・スキルテスト・・・1 週

*雨天など天候不順の場合は、室内競技を実施する。

バレーボール
・トス・パス・レシーブの基本技術練習、班分け・・・１週
・サーブ・トス・バスの基本技術練習・・・1 週
・ゲーム、審判法・・・3 週
・スキルテスト・・・1 週

水泳
・注意事項の確認、平泳ぎ、クロール・・・１週
・平泳ぎ、クロール、背泳のスキルテスト・・・1 週

新体力テスト・・・1 週

キーワード	バレーボール、ソフトボール、水泳、コミュニケーション
教科書	特になし
参考書	特になし

カリキュラム中の位置づけ

前年度までの関連科目	保健体育
現学年の関連科目	保健体育
次年度以降の関連科目	保健体育

連絡事項

学校指定の体操着、体育館シューズを着用すること。それ以外は認めない。用具は学校で用意する。自分のグローブを持参しても良い。体育着忘れは減点かつ実技参加は認めない。遅刻は減点、遅刻 3 回は、授業 1 回の欠席にする。水泳は事前の授業の中で説明する。夏期水泳の時には水着、水泳帽、バスタオル、ゴーグルなどを用意すること。各クラスの週番は、必ず授業前の用具の準備、連絡事項の伝達を行うこと。

シラバス作成年月日	平成 26 年 2 月 18 日